

基礎評価シート（令和 5 年度 実績）

施策1-1：公共施設のマネジメントと新たな魅力の創出

予算等事業名	施設再編推進事業					所管課	施設再編課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略	
					●		●	
事業対象	町民	目的	新庁舎整備の推進及び公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に基づき、公共施設の適正な配置・維持管理を行う。					
事業概要	防災・災害対策拠点としての機能強化や多様化する行政需要に対応した新庁舎を整備。未耐震集会所の改修等、複合施設の検討、未利用地などの活用検討、公共施設の再配置・町有地活用実施計画の推進を行う。							

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	06	大事業	施設再編推進事業（公共施設再配置・町有地有効活用事業）
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	190,920	71,122				
	概算人件費	10,204	10,204				
	トータルコスト	201,124	81,326	0	0	0	
	国庫/県支出金	19,893	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	2 人		10,204 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			10,204 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	公共施設の総延床面積(㎡) 【戦略】(施設)	計画値	68,729.08	68,589.08	68,449.08	68,309.08	68,169.08	68,029.84
		実績値		68,607.07				
②	1地区 1 地域集会所施設化【戦略】(施設)	計画値	25	24	23	22	21	20
		実績値		24				

町民満足度調査結果（令和 3 年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	公共施設の適正な維持管理・再編	4.22	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	—
	課題	—
今年度	成果（実績）	新庁舎は、基本設計に着手し、整備に向けて事業が推進している。未耐震集会所は、耐震改修及び耐震設計を行い、事業を推進させている。その他、複合施設、未利用地などの活用に対し、事業を推進させるため、検討委員会やアンケートなどを実施した。
	課題	事業に対する合意形成や完成への形、調整などが多大にある。推進していく上で、条例改正や他法令に基づいた申請許可などもあり、多種多様に課題が山積みな状況である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	財産管理経費				所管課	財務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●			●	
事業対象	町	目的	庁有財産の適切な管理を行う。				
事業概要	庁有財産の適切かつ効果的な管理を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	06	大事業	財産管理経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	10,100	5,810				
	概算人件費	1,347	1,347				
	トータルコスト	11,447	7,157	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	1,900	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.30 人		1,347 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,347 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	公共施設の総延床面積(㎡) 【戦略】(施設)	計画値	68,729.08	68,589.08	68,449.08	68,309.08	68,169.08	68,029.84
		実績値		68,607.07				
②	1地区 1 地域集会施設化【戦略】(施設)	計画値	25	24	23	22	21	20
		実績値		24				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	公共施設の適正な維持管理・再編	4.22	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	
	課題	
今年度	成果（実績）	百合が丘老人憩の家について、新館と旧館を統合し百合が丘2丁目会館としたことで、集会施設の施設数と床面積を削減した。また、町内に点在する町有地について、草木の剪定等の管理を実施している。
	課題	公会堂については建設から相当の年数が経過しており老朽化が進んでいる。 また、施設の名称と現在の利用実態が整合していない。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

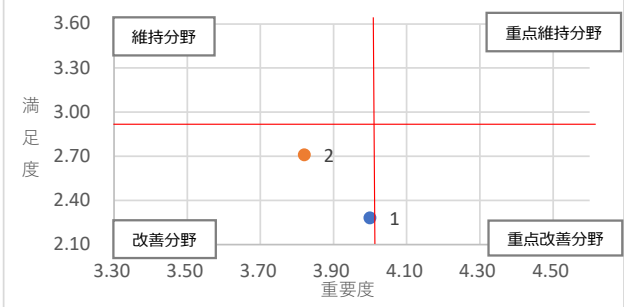
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	東大果樹園跡地活用事業				所管課	施設再編課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●	●	
事業対象	町民	目的	公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に基づき、町有地の活用方法を検討し、本格的な活用を目指す。				
事業概要	平成30年度に策定した事業計画に基づき、東京大学果樹園跡地の有効活用を町民等と共に推進する。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	東大果樹園跡地活用事業（公共施設再配置・町有地有効活用事業）
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費		R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	5,824	3,608				
	概算人件費	4,009	4,009				
トータルコスト		9,833	7,617	0		0	0
国庫/県支出金		0	0	0		0	0
その他		0	0	0		0	0
R 5 概算人件費		正規職員	1 人		4,009 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	人		千円		
		その他	人		千円		
		合計			4,009 千円		

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	東大果樹園跡地を専用予約して利用した新規団体数【戦略】	計画値	2	4	6	8	10
		実績値	1				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	土地利用	4.00	2.28
2	町有地の有効活用	3.82	2.71
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	東大果樹園跡地を活用したイベント数は、年々増えてきている。また、子どもの夏休みに遊び場になっていることなど居場所作りに寄与し、東大果樹園跡地という場所の認知度が向上している。
	課題	跡地の有効活用を目指し、町民団体による協議会組織を設立し、運営していたが、各団体の既得権の主張が顕著になっている。事務局体制も不安定であり、計画的な事業展開が難しく、将来のあり方を具体的に検討する時期にきている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	要改善

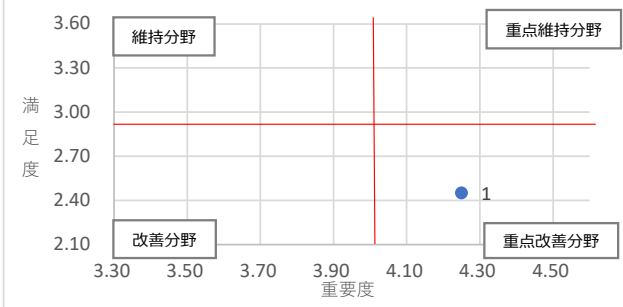
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	行政改革推進事業				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●	●	
事業対象	町民、職員	目的	行政改革を進めるとともに、民の力を活用した行政施策の推進、経営感覚豊かな行政運営の推進により、効率的で質の高い行財政運営を行う。				
事業概要	第 6 次二宮町行政改革大綱・推進計画の推進及び、進行管理を行う。また、次期行政改革大綱・推進計画の策定に向け準備を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	まちづくり総合調整事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	0	0				
	概算人件費	798	1,030				
	トータルコスト	798	1,030	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.16 人		798 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			798 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	公共施設の総延床面積(㎡) 【戦略】(施設)	計画値	68,729.08	68,589.08	68,449.08	68,309.08	68,169.08	68,029.84
		実績値		68,607.07				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・新たな行政改革大綱を基に10の個別項目を設定し、令和９年度までの具体的な取り組み事項と目標を定めた第６次二宮町行政改革推進計画を策定した。
	課題	・今後、推進計画に定めた目標を達成するため、各課と連携しながら業務の効率化等の検討を進める必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

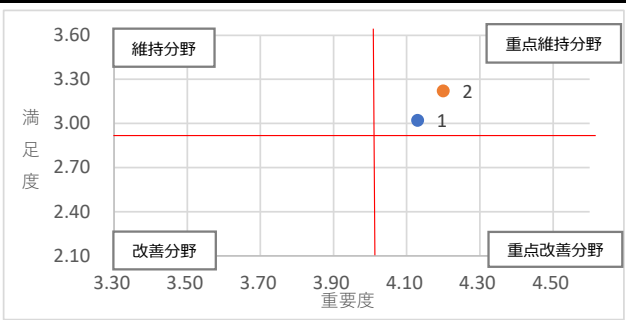
1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

予算等事業名	地域介護予防活動支援事業				所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●	●	
事業対象	町民、事業者	目的	地域の通いの場運営及び健康運動指導士派遣による介護予防の一助。				
事業概要	介護予防・日常生活支援総合事業。						

事業予算							
会計	04	款項目	03	02	01	大事業	地域介護予防活動支援事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算見込	R7 事業費	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	4,613	5,080				
	概算人件費	1,259	1,259				
	トータルコスト	5,872	6,339	0	0	0	
	国庫/県支出金	1,844	2,031	0	0	0	
	その他	2,133	2,349	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.24 人		1,259 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,259 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	地域の通いの場の参加者数 （延べ）【戦略】	計画値	4,500	5,000	5,500	6,000	6,500
		実績値	9,027				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	介護予防・社会参加の促進	4.13	3.02
2	健康づくりの支援	4.20	3.22
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・地区社協部会連絡会での提案をもとに、出前講座のメニューや物品の貸出等について調整を行った。
	課題	・コロナウイルス感染症拡大防止のため、通いの場等への積極的な勧奨は行っていないが、5 類となったため介護予防の普及・啓発の観点から関係者等と今後について検討していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

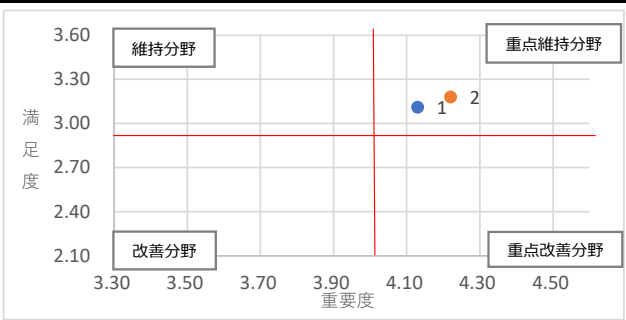
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	生活支援体制整備事業				所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●	●	
事業対象	町民、職員	目的	地域包括ケアシステム推進の一環。				
事業概要	地域の課題を地域住民、地域組織、地域の事業所、社協、行政が協働して解決していくための体制作りを進め、少子高齢、人口減少社会でも安心して暮らしていける地域づくりを進めるもの。						

事業予算								
会計	04	款項目	03	03	01	大事業	生活支援体制整備事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込		R 7 事業費		R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	4,035	3,659					
	概算人件費	940	940					
トータルコスト		4,975	4,599		0		0	0
国庫/県支出金		2,398	2,175		0		0	0
その他		820	744		0		0	0
R 5 概算人件費		正規職員	0.2 人			940 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			940 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	第 1 層協議体開催数（回/年）	計画値	4	4	4	4	4
		実績値	4				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域福祉の充実	4.13	3.11
2	地域包括支援センター	4.22	3.18
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・みまもりガイドを活用した「ゆるやかな見守り」について普及啓発を行った。 ・地域の困りごととして具体的なテーマを設定し、移動問題とごみ出し支援について検討を行った。
	課題	・お互いさま推進協議会のあり方等について検討する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

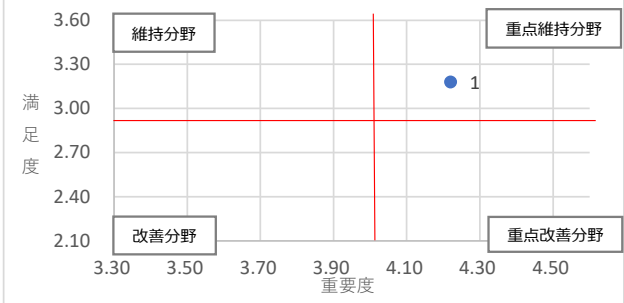
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	認知症総合支援事業					所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規		町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●					●	●	
事業対象	町民、職員		目的	地域包括ケアシステム推進の一環。				
事業概要	今後ますます増加が懸念される認知症疾患関係患者に対し、早期発見、早期対応できる体制を整えるとともに、認知症の理解を広め、認知症の方やその家族が安心して暮らせる地域づくりを進めるもの。							

事業予算								
会計	04	款項目	03	03	01	大事業	認知症総合支援事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込		R 7 事業費		R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	3,283	3,353					
	概算人件費	946	946					
トータルコスト		4,229	4,299		0		0	0
国庫/県支出金		1,951	1,993		0		0	0
その他		665	680		0		0	0
R 5 概算人件費		正規職員	0.2 人			946 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			946 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	認知症サポーター養成講座受講者数（人/年）【戦略】	計画値	560	570	580	590	600
		実績値	414				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括支援センター	4.22	3.18
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・ゆるやかな見守りの輪を広げるための啓発活動を各所で行った。 ・令和５年度までの３年間目標で児童・生徒・教員800人中619人に認知症サポーター養成講座を実施した。
	課題	・高齢化に伴い認知症高齢者が増えることが予想されているため、認知症への正しい知識と理解の向上及び認知症の予防並びにかかりつけ医との連携等に取り組んでいく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	在宅障がい者援護事業				所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●	●	●	●	
事業対象	町民・団体	目的	在宅の身体・知的・精神障害者に各種の補助事業を展開することにより、自立更正の一助に努め、併せて障害者とその家族の経済的軽減を図る。				
事業概要	在宅で生活を送る障がい者に対する各種福祉制度の利用助成や、障がい者を支える団体等の育成及び障がい者の支援を行うことで、福祉の増進を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	03	01	03	大事業	在宅障がい者支援事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	15,451	18,087				
	概算人件費	2,958	2,958				
	トータルコスト	18,409	21,045	0	0	0	
	国庫/県支出金	1,826	1,826	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.38 人		1,902 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.5 人		1,056 千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,958 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	視覚や聴覚障害、難聴者へのガイドヘルパーや手話通訳者等の派遣回数。（手話派遣・設置・要約筆記・ガイドヘル）（回）	計画値	282	282	285	288	291	294
		実績値		270				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域福祉の充実	4.13	3.11
2	障害者福祉サービスの充実	4.29	3.21
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・在宅障害者への各種支援により、福祉の増進が図られた。
	課題	・社会情勢に見合った在宅障害児者福祉手当について引き続き検討する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	町民活動推進事業（町民活動推進委員会、町民活動推進補助金）				所管課	地域政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町民活動団体	目的	町民活動推進委員会を組織し町民活動推進補助金による支援を行うことで町民活動の推進を図る。				
事業概要	町民活動推進委員会による町民活動推進補助金の交付審査を行うほか、町民活動促進のための情報発信を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	12	大事業	町民活動推進事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	919	719				
	概算人件費	2,759	2,759				
	トータルコスト	3,678	3,478	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.54 人		2,759 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,759 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	地域活動に参加している人の割合【戦略】（％）	計画値	32.5	33.0	33.5	34.0	34.5
		実績値	25.9				
②	町民活動推進補助金活用団体数（団体）	計画値	4	4	4	4	4
		実績値	4				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	コミュニティ活動支援	3.53	3.09
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	スタート支援：１団体、ステップアップ支援：３団体 計４団体に補助金を交付した。
	課題	補助金申請団体が減少傾向にある。町民活動を推進していくには、補助金交付終了後も状況確認やフォローアップの体制づくりが必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

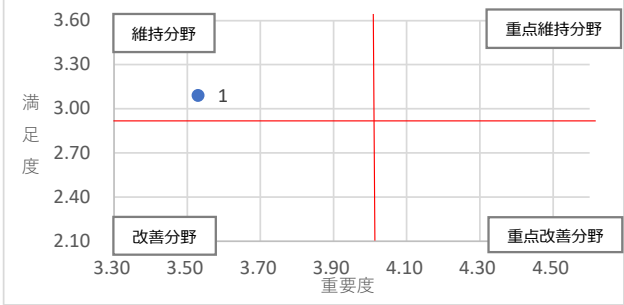
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	町民活動推進事業（地域活動支援）				所管課	地域政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町民	目的	地区間の情報共有及び地域の自主的な活動や運営の支援による住民同士の交流促進を目的とする。				
事業概要	地区長連絡協議会では、地区と行政との協力・連携によるまちづくりの視点に立ち、情報交換や協議を行っている。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	12	大事業	町民活動推進事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	17,949	18,067				
	概算人件費	2,759	2,759				
	トータルコスト	20,708	20,826	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.54 人		2,759 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,759 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	地域活動に参加している人の割合【戦略】（％）	計画値	32.0	32.5	33.0	33.5	34.0	34.5
		実績値		25.9				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	コミュニティ活動支援	3.53	3.09
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	地区長連絡協議会役員会、連絡会議を各年６回開催、県外視察研修を１回実施し、町との連絡調整、地区長間の意見交換を図った。
	課題	地区長の負担が大きく、年々なり手を探すのが困難になってきている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

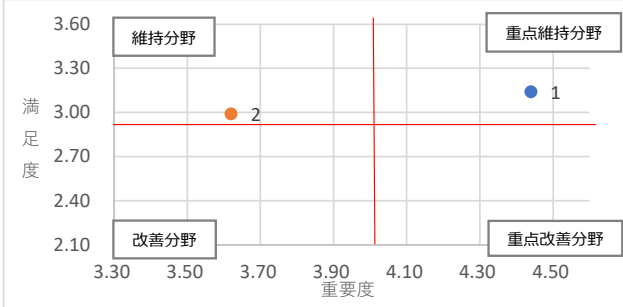
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	防災訓練・自主防災組織育成事業				所管課	防災安全課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町民	目的	防災訓練を実施し、住民の防災意識（自助・共助の精神）の向上を図る。				
事業概要	総合防災訓練、自主防災組織訓練の実施						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	11	大事業	防災訓練・自主防災組織育成事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	252	207				
	概算人件費	1,922	1,922				
	トータルコスト	2,174	2,129	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.40 人		1,922 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,922 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	地域活動に参加している人の割合【戦略】（％）	計画値	32.5	33.0	33.5	34.0	34.5
		実績値	25.9				
②	自主防災訓練を実施している地区数【戦略】（地区）	計画値	16	17	18	19	20
		実績値	15				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	防災・災害対策	4.44	3.14
2	町民参画・協働	3.62	2.99
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・町全体の訓練として町立体育館を会場とする総合防災訓練を実施し、ペット同行避難、給水訓練、ボランティアセンター開設等の訓練を実施した。 ・地区ごとの訓練として、地区の要請に応じた15回の自主防災訓練を実施した。
	課題	・総合防災訓練は熱中症対策を含め、夏季以外の開催を検討する必要があること、防災への関心が低い方や若者世代が参加しやすい訓練となるよう工夫する必要がある。 ・自主防災訓練は開催地区が減ったため、例年行っている年度初めの地区長連絡協議会での勧奨のほか、好事例の紹介など開催地区を増やす工夫をする必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・充実」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

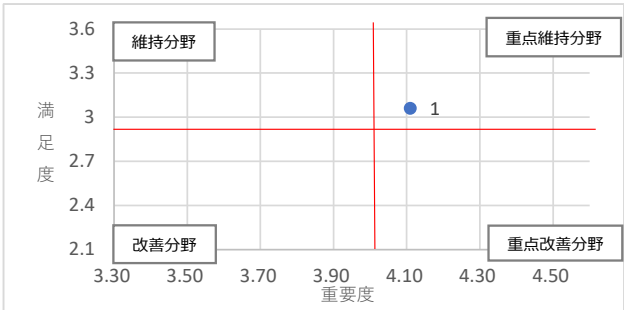
1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	要改善

予算等事業名	環境保全推進事業（環境学習、地球温暖化防止運動の推進等）				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●	●		●	●	●	
事業対象	町民	目的	国民運動であるクールチョイス(2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で23%削減するという目標)を推進することで、地球温暖化防止に資する。				
事業概要	地球温暖化対策実行計画を推進するとともに、町民理解のための基盤づくりを優先的に行うための普及啓発活動を実施し、町民の地球温暖化に関する機運の向上を図る。また、町民団体や民間事業者が実施する再生可能エネルギー導入促進を支援する。						

事業予算						
会計	01	款項目	04	02	02	大事業 環境保全推進事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算見込	R7 事業費	R8 事業費	R9 事業費
	直接事業費	154	473			
	概算人件費	5,612	5,612			
	トータルコスト	5,766	6,085	0	0	0
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
R5 概算人件費	正規職員	0.92 人		5,612 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			5,612 千円		

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① 啓発イベントの実施数	計画値	4	3	2	2	2	2
	実績値		3				
② 「地球温暖化・気候変動」の認知度【戦略】（%）	計画値	89.9	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0
	実績値		74.4				

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	自然環境の保全	4.11	3.06
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・5月の「エコフェスタにのみや」並びに11月の「ふるさとまつり」において、環境PRブースを設置し、普及啓発活動を実施した他、8月に県の支援事業（子ども環境教室）を活用し、「体験型未来づくり教室」を実施した。
	課題	・環境PRブースは、来場者の関心を惹くための工夫、行動の実践に繋げるための工夫を検討する必要がある。 ・「体験型未来づくり教室」は、労力をかけず効率的に募集の募るための工夫を検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	要改善

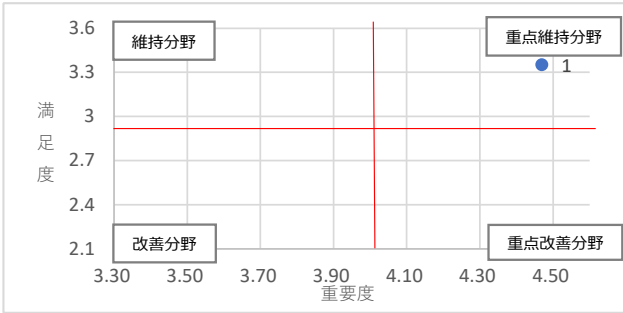
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	ごみ減量化・再利用事業				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●	●	●	●	●	●	
事業対象	町民	目的	二宮町一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの減量化・資源化を図る。				
事業概要	ごみの減量化・再利用化を推進し、啓発事業を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	04	02	02	大事業	ごみ減量化・再利用事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込		R 7 事業費		R 8 事業費
							R 9 事業費
	直接事業費	8,415	10,327				
	概算人件費	2,044	2,044				
トータルコスト		10,459	12,371		0		0
国庫/県支出金		0	0		0		0
その他		0	0		0		0
R 5 概算人件費	正規職員	0.35 人		1,985 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.04 人		59 千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,044 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	1人1日当たりのごみ排出量 （g/人・日）	計画値	807	803	798	798	—
		実績値	768				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	ごみ処理・リサイクル等	4.47	3.35
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	—
	課題	—
今年度	成果（実績）	・一般廃棄物処理基本計画に基づく「家庭系ごみ排出抑制」の一環として、町内小学生を対象に町指定ごみ袋に掲載する標語の募集や、10月の「食品ロス削減月間」に合わせた町広報紙への特集記事掲載を実施した他、減量化等計画書をもとに多量排出事業者4社への指導・ヒアリングを実施した。
	課題	・一般廃棄物処理基本計画に基づく3つの計画目標のうち、「減量化の目標」と「最終処分量の削減目標」は、現時点において達成したものの、「資源化の目標」については未達であるため、引き続き、ごみ排出量の削減等を推進する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	美化推進事業（530キャンペーンの実施等）				所管課	生活環境課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町民、事業者	目的	海岸清掃を実施することにより海岸をきれいにするとともに、海岸美化・海岸保全に対する意識向上を図る。				
事業概要	環境意識の高揚を図るため、ゴミゼロキャンペーンを実施する。また町の中心を流れる葛川の美化を図り、住みよい環境作りを推進する。						

事業予算							
会計	01	款項目	04	02	02	大事業	美化推進事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算見込	R7 事業費	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	1,432	1,472				
	概算人件費	683	683				
	トータルコスト	2,115	2,155	0	0	0	
	国庫/県支出金	945	971	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R5 概算人件費	正規職員	0.15 人		683 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			683 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	美化財団海岸ごみ回収量（t）	計画値	29	29	29	29	29
		実績値	16				
②	海岸530キャンペーン参加者数（茶屋海岸を含む）（人）	計画値	489	489	489	489	489
		実績値	407				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	自然環境の保全	4.11	3.06
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	—
	課題	—
今年度	成果（実績）	・かながわ海岸美化財団により、二宮海岸約3km、幅55mを対象に、年55回の団体清掃（生きがい事業団）と年12回の機械清掃が実施され、約16tの海岸漂着ごみが回収された。 ・湘南にのみや530キャンペーンを開催し、407名の方にご参加いただき、190kgの海岸ごみを回収した。
	課題	・台風や大雨など天候により、年度によって、ごみ量が大きく変化する。 ・海岸ごみの約7割は河川から流れ着いているとされているため、ポイ捨てなどを未然に防止する取組みが必要。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	道路維持管理経費				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町民	目的	町道の安全・安心な通行を確保するため、適切な維持管理を実施していく。				
事業概要	側溝清掃や街路樹等の維持管理委託、橋りょう長寿命化対策、通学路安全施設整備、道路修繕工事等を実施する。						

事業予算							
会計	01	款項目	07	02	01	大事業	道路維持管理経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	149,085	190,317				
	概算人件費	8,912	8,912				
	トータルコスト	157,997	199,229	0	0	0	
	国庫/県支出金	25,918	59,782	0	0	0	
	その他	18,614	18,613	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.42 人		1,814 千円			
	再任用職員	4 人		7,098 千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			8,912 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	道路の整備	4.22	2.75
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・道路等のインフラについては、町民生活に直結していることから、日頃のパトロールや地区要望などにより修繕が必要な場所の優先度を位置づけ維持管理を行っている。
	課題	・道路構造物について、老朽化が進行している状況である。今後、安全面を重視した維持管理手法の確立が求められる。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	管路建設改良費				所管課	下水道課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●	●	
事業対象	町民、事業者	目的	公共下水道の普及により、公衆衛生の向上と河川等の水質保全に資する。				
事業概要	百合が丘、中里、山西、二宮地区の枝線整備を実施する。						

事業予算							
会計	05	款項目	01	01	01	大事業	管路建設改良費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	174,628	277,527				
	概算人件費	7,070	6,361				
	トータルコスト	181,698	283,888	0	0	0	
	国庫/県支出金	65,400	73,100	0	0	0	
	その他	116,298	210,788	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	1.35 人		6,875 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.2 人		195 千円			
	その他	人		千円			
	合計			7,070 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	下水道整備面積（ha）	計画値	423.5	427.8	432.1	436.4	440.7
		実績値	423.5				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	公共下水道の整備と管理	4.19	3.25
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・汚水枝線工事を６箇所実施し、本管工事延長L=901m（φ200） 取付管及び公共汚水樹54箇所設置した。
	課題	・令和５年時点で、事業計画区域の94.3%について整備が完了している。未普及対策としては令和７年度概成を目標に整備を進めているが、未利用地や私道については土地所有者の意向等により整備が行えない状態となっており、取り残される区域が生じてしまう。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

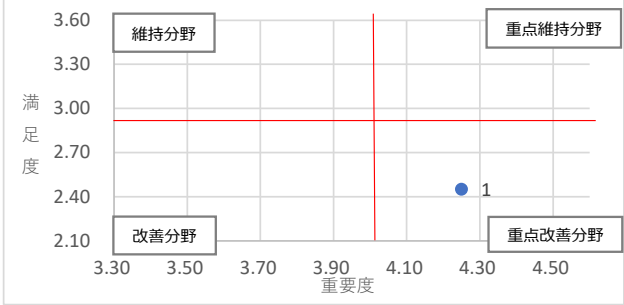
1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

予算等事業名	情報システム運用事業				所管課	デジタル推進室	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	職員・町民・事業者	目的	住民情報・財務会計システム等の安定稼働及び事務の省力化・効率化を図る。				
事業概要	基幹系システム、内部情報系システム、庁内ネットワーク等の安定的な運用に必要な業務を行う。また、e-KANAGAWA電子申請システムを活用した運用も引き続き行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	08	大事業	情報システム運用事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	34,473	43,776				
	概算人件費	6,175	6,175				
	トータルコスト	40,648	49,951	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	3,876	0	0	0	
	その他	5,390	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	1.38 人		6,175 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			6,175 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	－	計画値					
		実績値					
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	各種システムの運用により業務の効率化が図られている。
	課題	令和７年度に自治体情報システムの標準化・共通化への移行を控えていることから、それに向けた準備も並行して行う必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

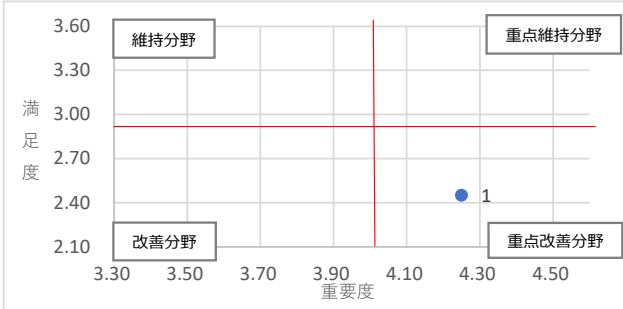
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	デジタル推進事業				所管課	デジタル推進室	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	職員・町民・事業者		目的	自治体のデジタルトランスフォーメーションを推進する。			
事業概要	住民の利便性向上や内部事務の効率化を実現するためのシステム環境の整備を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	08	大事業	デジタル推進事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	57,656	54,604				
	概算人件費	6,839	6,839				
	トータルコスト	64,495	61,443	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	2,258	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	1.56 人		6,839 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			6,839 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	行政手続きのオンライン化 （件）【戦略】	計画値	11	30	60	100	140	190
		実績値		59				
②	住民票等の証明書のコンビニ交 付件数（件）【戦略】	計画値	718	3,000	3,500	4,000	4,500	5,000
		実績値		3,352				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	手順のオンライン化については、計画通り実施できている。
	課題	今後は内部事務の効率化についても並行して進めるとともに、デジタル化に向けた人材の育成が求められる。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和5年度 実績）

予算等事業名	広報活動事業				所管課	地域政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	主に町民	目的	各種媒体を活用し積極的な町情報の発信に努める。				
事業概要	広報にのみやの発行、町ホームページの更新・維持管理、広報板管理を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	03	大事業	広報活動事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算見込	R7 事業費	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	6,734	7,543				
	概算人件費	5,944	5,944				
	トータルコスト	12,678	13,487	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	1,150	1,368	0	0	0	
R5 概算人件費	正規職員	1.60 人		5,944 千円			
	再任用職員	0.00 人		0 千円			
	会計年度任用職員	0.00 人		0 千円			
	その他	0.00 人		0 千円			
	合計			5,944 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	町ホームページのアクセス件数（件）	計画値	845,738	660,000	670,000	680,000	690,000
		実績値		677,239			
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	広報・広聴の充実	3.76	3.22
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	—
	課題	—
今年度	成果（実績）	・広報紙にID検索を表示するなど、紙媒体とホームページの連携性向上を図った。 ・広報紙・ホームページともに、より分かりやすい情報発信に努めた。
	課題	・新型コロナウイルスのまん延に伴い一時的に上昇していたアクセス件数と比較すると実測値が下がってしまった。（コロナ禍前の平成30年度の数値と比較すると上昇している）

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

予算等事業名	「にのみやLife」移住・定住・交流PR事業				所管課	地域政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町内外の住民		目的	移住定住の促進を図るため、町の魅力を発信する事業を推進する。			
事業概要	県が開催する移住セミナーへ参加のほか、町独自で移住相談会を開催するなど、移住希望者へ情報発信を図る。また、移住者同士の交流も図り定住・交流を促進する。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	03	大事業	「にのみやLife」移住・定住・交流PR事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算見込	R7 事業費	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	127	112				
	概算人件費	2,083	2,083				
	トータルコスト	2,210	2,195	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R5 概算人件費	正規職員	0.54 人		2,083 千円			
	再任用職員	0.00 人		0 千円			
	会計年度任用職員	0.00 人		0 千円			
	その他	0.00 人		0 千円			
	合計			2,083 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	町HPの「にのみやLife」の閲覧数【戦略】（件）	計画値	142,000	144,000	146,000	148,000	150,000
		実績値	44,474	140,542			
②	二宮町の社会移動数【戦略】（人）	計画値	+60	+65	+70	+75	+80
		実績値	+57	+80			

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	広報・広聴の充実	3.76	3.22
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・オンライン移住相談会を毎月開催しているほか、令和5年度は初めて町単独の移住相談会を東京会場で開催した。 ・定住・交流事業として、移住者を集めた交流会『二宮町いいとこ発見会』を開催した。
	課題	・移住相談会等に参加した方の、その後の移住情報を画一的に把握する方法がないので研究する必要がある。（現状は次年度当初のアンケートや転入手続き時アンケートで補完している）

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	文化振興事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●	●	
事業対象	町民	目的	町民の文化・芸術活動を奨励し、活動を通じて町民相互の交流を深め、心豊かでうれしいのある生活ができるよう支援する。				
事業概要	町文化祭、ピアノマラソンコンサート等を開催する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	05	大事業	文化振興事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	309	286				
	概算人件費	1,046	1,046				
	トータルコスト	1,355	1,332	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.23 人		1,046 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,046 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	文化祭来場者数（人）	計画値	2,946	2,946	3,900	4,100	4,300	4,500
		実績値		3,634				
②	ピアノマラソンコンサート参加者数（人）	計画値	76	80	80	80	80	80
		実績値		90				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	文化振興・歴史の継承	3.68	3.03
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・事業の開催により町民が文化や芸術に触れる機会の提供に努め、多くの町民の参加や来場につながった。
	課題	・文化や芸術に触れる機会の提供に継続して取り組む必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

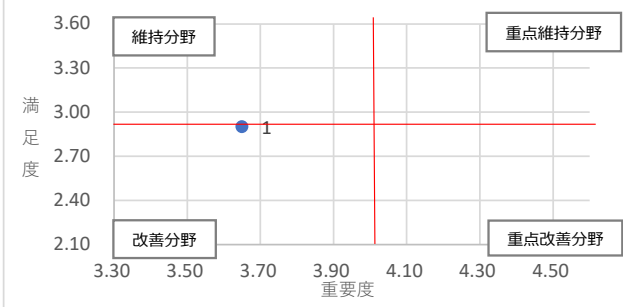
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	観光振興対策経費				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●	●	
事業対象	観光客、町民	目的	町の観光振興を目的とし、観光客の来訪促進を図る。				
事業概要	観光協会に補助金を交付し、菜の花ウォッチングなどを実施することで誘客を図るほか、HP等で町の魅力を発信する。また、湘南地区観光振興協議会で、湘南への誘客イベントを実施している。						

事業予算							
会計	01	款項目	06	01	03	大事業	観光振興対策経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	10,560	10,646				
	概算人件費	1,963	2,481				
	トータルコスト	12,523	13,127	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.46 人		1,851 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.05 人		112 千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,963 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	町観光入込客数【戦略】 （人）	計画値	497,434	500,000	510,000	520,000	530,000	540,000
		実績値		578,602				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	観光振興	3.65	2.90
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・観光協会内に一般社団法人設立準備委員会を設け、一般社団法人設立に向けての方針や定款案などの取りまとめを行い、令和７年度の法人化に向けた取り組みを推進した。 ・観光協会や各種団体とともに令和元年ぶりのふるさとまつり通常開催や第20回吾妻山菜の花ウォッチングを開催するなど取り組みを行い、二宮町観光まちづくり戦略を推進した。
	課題	・現時点で大きな課題はないので、継続して事業の執行に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

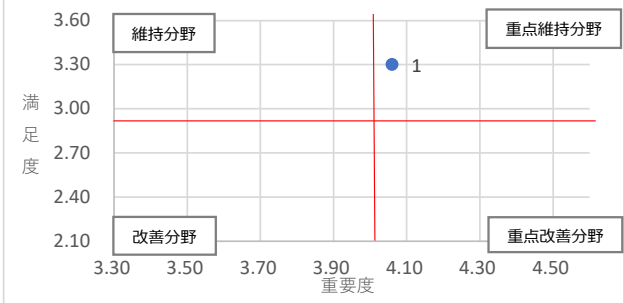
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	生涯学習センター管理運営事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●	●	
事業対象	町民、町外住民	目的	生涯学習センター施設の維持管理及び運営を行う。				
事業概要	ホールや貸室の提供などを行い、生涯学習振興と生涯学習支援を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	04	05	大事業	生涯学習センター管理運営事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込		R 7 事業費		R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	70,272	75,269					
	概算人件費	1,061	1,061					
トータルコスト		71,333	76,330		0		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 5 概算人件費		正規職員	0.29 人			1,061 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			1,061 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	ラディアンの稼働率【戦略】 （％）	計画値	44.4	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0
		実績値		45.5				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	生涯学習の振興	4.06	3.30
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・モールにソファを設置するなど、利用者の居場所づくりを行うとともに、大規模改修に係る基本設計を実施した。
	課題	・開館より20年以上が経過し、老朽化による不具合が出ていることから、大規模改修まで適切な維持管理を行うとともに、閉館期間の事前周知について時期や方法についても検討していく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

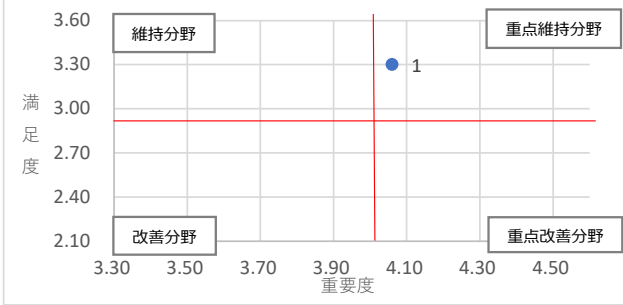
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	図書館運営事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●	●		●	●	
事業対象	町民、近隣住民	目的	図書館の運営及び各種事業の展開を図る。				
事業概要	図書、視聴覚資料の貸出や資料の紹介、おはなし会等の行事など、教養、調査、研究、レクリエーションに資する活動を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	04	03	大事業	図書館運営事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込		R 7 事業費		R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	10,819	10,697					
	概算人件費	21,160	21,160					
トータルコスト		31,979	31,857		0		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 5 概算人件費	正規職員	1.33 人			7,119 千円			
	再任用職員	人			千円			
	会計年度任用職員	19 人			14,041 千円			
	その他	人			千円			
	合計			21,160 千円				

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	年間貸出者数(人)	計画値	80,121	81,000	81,000	81,000	81,000	81,000
		実績値		79,151				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	生涯学習の振興	4.06	3.30
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・貸出サービスの他、子ども・親子向け行事の実施、資料の充実・紹介に取り組んだ。また、職業体験や見学の受け入れ、学校と連携した資料展示など、小中学生への利用促進に努め、新たに「放課後子ども教室」と連携した取り組みを行った。
	課題	・利用状況が減少傾向にあるため、既存の利用者だけでなく新規利用者獲得のため、幅広い年齢層に対し、図書館利用を促進する取り組みを進める必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	要改善

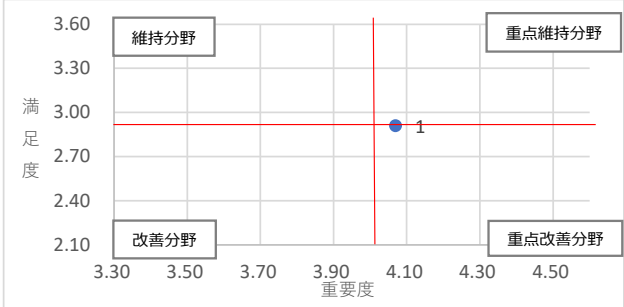
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	公園等維持管理運営経費				所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	町民		目的	都市公園、児童遊園地等施設の維持管理を継続的に実施し、負担軽減に向けた公園の配置の見直しを行う。また、施設を整備し利用者の安全を図り適切な公園運営を行なう。			
事業概要	都市公園、児童遊園地等施設の維持管理を継続的に実施し、施設を整備し利用者の安全を図り適切な公園運営を行なう。						

事業予算								
会計	01	款項目	07	04	02	大事業	公園等維持管理運営経費	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込		R 7 事業費		R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	68,862	67,689					
	概算人件費	31,124	31,124					
トータルコスト		99,986	98,813		0		0	
国庫/県支出金		0	0		0		0	
その他		6,756	7,528		0		0	
R 5 概算人件費		正規職員	0.27 人			1,340 千円		
		再任用職員	0 人			0 千円		
		会計年度任用職員	27 人			29,784 千円		
		その他	0 人			0 千円		
		合計			31,124 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	町観光入込客数【戦略】 （人）	計画値	497,434	500,000	510,000	520,000	530,000	540,000
		実績値		455,507				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	公園・緑地の整備	4.07	2.91
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・公園利用者や地域住民が快適に利用できるよう、適正な維持管理に努めている。
	課題	・各公園の遊具等の施設の老朽化が顕著となっているため、計画的に整備していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

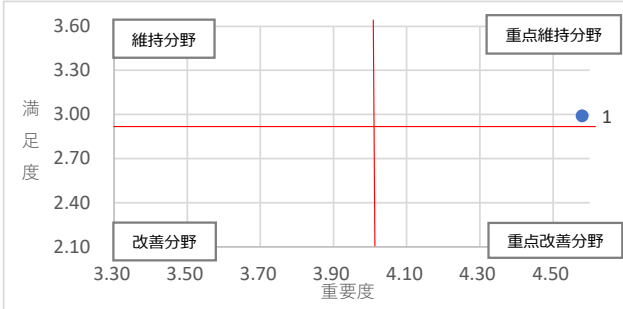
1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

予算等事業名	小中一貫教育推進事業				所管課	教育指導課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	学校	目的	時代の要請や社会の動向を踏まえ、教育の改善やその振興及び充実を図る。				
事業概要	教育に関する専門的・技術的事項の研究（英語教育の推進、小中一貫教育の研究等）及び教育研修を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	小中一貫教育推進事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	2,270	3,227				
	概算人件費	1,848	1,848				
	トータルコスト	4,118	5,075	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.33 人		1,848 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,848 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	小中一貫教育の認知度【戦略】（％）	計画値	40.0	42.5	45.0	47.5	50.0
		実績値	42.0				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・令和５年度から分離型小中一貫教育校「にのみや学園」が開校し、にのみや学園プロジェクトを着実に進めることができた。 ・小中一貫教育設置研究会を開催し、提言書作成に向けて、議論を進めることができた。
	課題	・子ども同士の交流については、より高い教育効果を得られるように、対象学年内容等を研究する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	拡大・拡充

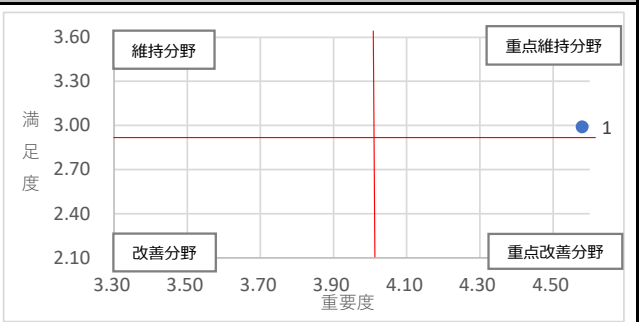
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	英語教育推進事業				所管課	教育指導課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	学校	目的	国際化が日常化する中で、学習を通じ、小中学生の日本や外国の文化等への理解を深めるとともに、英語による実践的なコミュニケーション能力を高める。				
事業概要	各学校へのALTの配置及び英語教材の整備を行うとともに、英語検定受験の奨励を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	英語教育推進事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	9,362	9,939				
	概算人件費	439	439				
	トータルコスト	9,801	10,378	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.07 人		439 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			439 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	中学３年生の英検３級の取得率【戦略】（％）	計画値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	17.7				
②	全国学力学習状況調査全国平均との差（点）	計画値	+3.5	+3.5	+3.5	+3.5	+3.5
		実績値	+3.4				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	-
	課題	-
今年度	成果（実績）	・研修会を通じて、小中学校の外国語の授業改善を図ることができた。また、全国学力・学習状況調査においても英語を好きだと回答する児童生徒の割合は高い。
	課題	・英語検定奨励金制度の活用が十分ではなく、学校における周知方法等を改善していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	I C T教育推進事業				所管課	教育総務課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●	●	
事業対象	学校	目的	ICT環境整備を推進することで、効率的かつ質の高い授業展開を図る。				
事業概要	新学習指導要領に対応した、教育用コンピューター等のICT環境を整備する。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	ICT教育推進事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	61,162	61,377				
	概算人件費	2,630	2,630				
	トータルコスト	63,792	64,007	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.47 人		2,630 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,630 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	週３回以上授業でICTを使用したか（全国学状調査）（％）	計画値	小63.1 中85.1	小63.1 中85.1	小79 中96	小80 中97	小81 中98	小82 中100
		実績値		小78.4 中95.0				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・国の「GIGAスクール構想」に基づき、１人１台端末や校内のネットワーク環境を整備した。 ・成果指標からも小中ともに授業においてICTを積極的に活用してきていることが伺える。引き続きICTを活用した授業実践を積み重ねていき、情報活用能力の育成に向けた系統的な指導のあり方について研究していく。
	課題	・端末機器の借上げの５年が近づいている中、近年端末機器の更新費用が上昇している。補助金を活用するが、補助基準額以上になった場合、財政負担が大きくなる。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

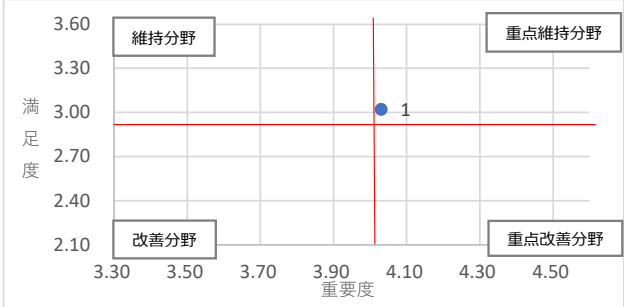
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	コミュニティ・スクール運営促進事業				所管課	教育指導課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●			●	●	
事業対象	学校・地域	目的	地域とともにある学校づくりの手法のひとつとして、コミュニティ・スクールの運営を促進することで、児童生徒の豊かな成長を支援する。				
事業概要	学校運営協議会の活動に対する支援及び組織体制の強化を図る。						

事業予算								
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	コミュニティ・スクール運営促進事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込		R 7 事業費		R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	2,900	3,234					
	概算人件費	487	487					
トータルコスト		3,387	3,721		0		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 5 概算人件費		正規職員	0.09 人			487 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			487 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	コミュニティ・スクールの認知度【戦略】（％）	計画値	23.0	25.0	27.0	29.0	30.0
		実績値	22.9				
②	各校の学校運営協議会の開催回数（回）	計画値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
		実績値	4.0				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域と連携した教育活動の充実	4.03	3.02
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・各学校運営協議会の活動が活発に行われるようになってきた。
	課題	・各学校の運営協議会の活動が通常に戻っていく中で、協議会ごとに課題があり、地区によっても受け止めに対して温度差がある。そのため、にのみや学園としての学校運営協議会として向かっていく中で、活動内容や課題の共有化、また地域へ活動内容の周知を行いコミュニティスクールの認知を高めていく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

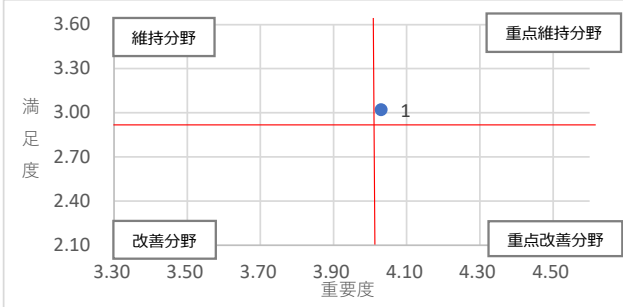
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	地域学校協働活動推進事業				所管課	生涯学習課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●	●	
事業対象	町民、学校職員	目的	コミュニティ・スクールの枠組みを活用し、地域学校協働活動の推進を図る。				
事業概要	放課後子ども教室など、学校と連携し、地域の教育力を生かした子どもの健全育成事業を実施。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	04	05	大事業	地域学校協働活動推進事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	1,702	2,299				
	概算人件費	3,011	3,011				
トータルコスト		4,713	5,310	0	0	0	
国庫/県支出金		0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費		正規職員	0.38 人		1,777 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	2 人		1,234 千円		
		その他	人		千円		
		合計				3,011 千円	

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	放課後子ども教室の登録率【戦略】（％）	計画値	26.9	27.0	27.5	28.0	28.5	29.0
		実績値		41.9				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域と連携した教育活動の充実	4.03	3.02
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・放課後の居場所として、各校12回開催した。また、今年度は初めて、夏休みに３小学校合同で事業を開催した。
	課題	・登録数が伸びている一方で、スペースの確保や暑い時期を避けたことにより実施時期に偏りがでているなど、放課後の居場所のあり方に検討が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

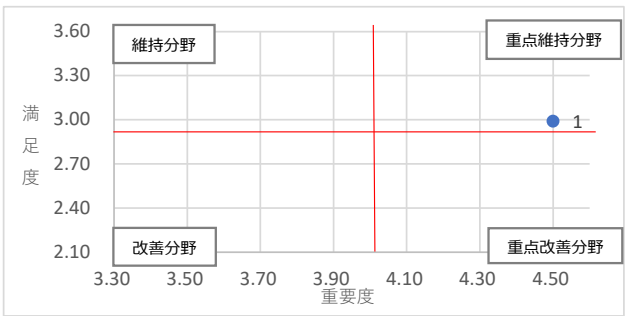
1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

予算等事業名	子育て世代包括支援事業					所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規		町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●	●				●		●
事業対象	町民		目的	育児に不安を抱える方などが、気軽に相談できる窓口を設置し不安の解消に努める。				
事業概要	母子の健康保持・増進を図るため、健康診査や育児相談など、育児不安の解消や親子関係の向上を図る。また、妊娠・出産から育児期を通して切れ目のない支援を行うため、子育て世代包括支援センターを設置。							

事業予算								
会計	01	款項目	03	02	03	大事業	子育て世代包括支援事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込		R 7 事業費		R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	11,386	13,616					
	概算人件費	14,543	14,543					
トータルコスト		25,929	28,159		0		0	0
国庫/県支出金		16,805	23,005		0		0	0
その他		52	270		0		0	0
R 5 概算人件費		正規職員	1.05 人			4,699 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	13 人			9,844 千円		
		その他	人			千円		
		合計			14,543 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	母子手帳発行数（冊）	計画値	130	115	115	115	115
		実績値	98				
②	乳幼児全戸訪問事業のサポート率【戦略】（％）	計画値	100	100	100	100	100
		実績値	100				
③	養育支援事業のサポート率【戦略】（％）	計画値	100	100	100	100	100
		実績値	100				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	出産・子育て支援の充実	4.50	2.99
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・事業や訪問の再開により、きめ細やかな対応ができた。
	課題	・育児の孤立化は解消できていないため、子育てのきめ細やかな支援は必要と感じる。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

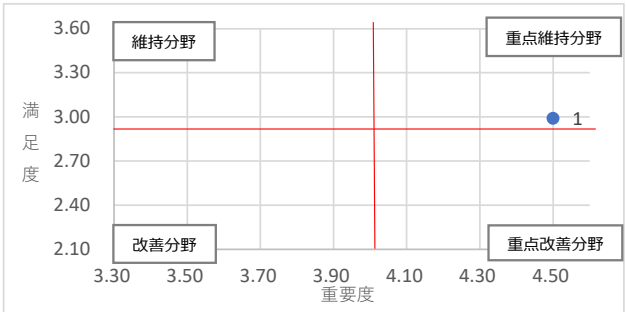
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	育児発達支援事業				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町民	目的	子どもの発達支援を行うとともに、保護者や園の先生方とともに支援の仕方を考えていく。				
事業概要	健診や相談で課題があった親子に親子支援教室や育児発達支援教室を実施し、療育的な支援を行う。また、保育園や幼稚園従事者への支援も行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	03	02	03	大事業	育児・発達支援事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込		R 7 事業費		R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	1,142	1,245					
	概算人件費	4,744	4,744					
トータルコスト		5,886	5,989		0		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 5 概算人件費		正規職員	0.33 人			1,520 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	2.3 人			3,224 千円		
		その他	人			千円		
		合計			4,744 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	育児について困ったとき、気軽に相談できる人や場がある保護者の割合【戦略】（％）	計画値	94.3	94.5	95.0	95.5	96.0	96.7
		実績値		89.1				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	出産・子育て支援の充実	4.50	2.99
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・こどもの状況に応じ、教室を展開した。参加した親子の出席率は高く、満足度は高い。
	課題	・発達のフォローが必要なお子さんや家庭が増えているが、保護者の就労などで教室参加が叶わない状況にある。教室やフォロー体制の在り方を検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

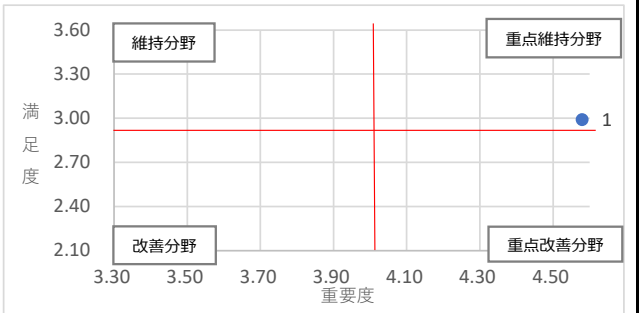
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	教育相談・教育支援室事業				所管課	教育指導課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	学校	目的	学業上の悩みについての教育相談及び不登校児童・生徒への支援を通じて、児童生徒の心のケアを図る。				
事業概要	心理士、スクールソーシャルワーカー等による教育相談を行うとともに、不登校児童・生徒への支援を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	09	01	03	大事業	教育相談・教育支援室事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	189	280				
	概算人件費	12,404	9,032				
	トータルコスト	12,593	9,312	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	400	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.43 人		2,395 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	8.00 人		10,009 千円			
	その他	人		千円			
	合計			12,404 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	年間相談件数（件）	計画値	1,750	1,750	1,750	1,750	1,750
		実績値	1,589				
②	相談援助職の月あたりの合計稼働日数（県雇用含む）（日）	計画値	SC 28 SSW 14	SC 28 SSW 14	SC 28 SSW 14	SC 28 SSW 14	SC 28 SSW 14
		実績値	SC 28 SSW 14				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	小中学校の学校教育の充実	4.58	2.99
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを派遣型から学校常駐型に変更したことで、困り感や悩みを抱える児童生徒に対して、これまで以上に早期発見できるようになった。また、校内の教職員と専門職が連携しやすくなり、教育相談体制の充実につながった。
	課題	・心理検査依頼件数が増えていて、勤務時間内では対応できないケースが増えている。心理検査を円滑に行うための体制整備が必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

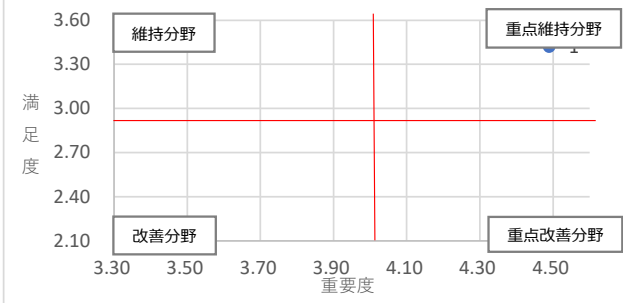
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	小児医療費助成事業				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●	●	
事業対象	町民	目的	小児に係る医療費の一部を助成することにより、小児の健全な育成を支援し、もって小児の福祉の増進を図ることを目的とする。				
事業概要	小児にかかる医療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を行い小児の健康の増進を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	01	大事業	小児医療費助成事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	80,477	92,946				
	概算人件費	1,152	1,152				
	トータルコスト	81,629	94,098	0	0	0	
	国庫/県支出金	23,570	29,086				
	その他	0	1				
R 5 概算人件費	正規職員	0.25 人		1,152 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,152 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	小児医療証発行数（枚）	計画値	2,688	－	－	－	－
		実績値	2,614				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	子育て支援対策	4.49	3.42
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・適性に医療証の随時発行、医療費の支払いを行い、年度途中において令和6年度当初からの対象年齢引き上げを決め、これに必要な新医療証の発行業務を行った。
	課題	・令和5年度までに県内多くの自治体が対象年齢を18歳まで延長したが、当町においても令和6年4月診療からの拡大を実施しており、今後は県での制度統一や補助拡充を求めている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

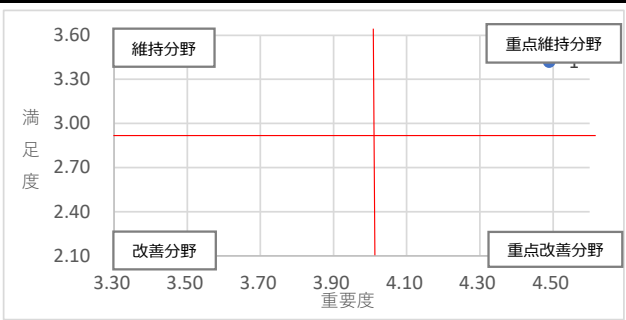
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	ひとり親世帯関係経費				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●	●	
事業対象	町民	目的	ひとり親家庭の自立及び生活の安定を図るため。				
事業概要	ひとり親家庭の自立、生活の安定の一助として医療費を助成するとともに、これらの家庭において緊急一時ヘルパーを必要とする場合、助成する。						

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	01	大事業	ひとり親世帯関係経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	10,431	12,865				
	概算人件費	1,975	1,975				
	トータルコスト	12,406	14,840	0	0	0	
	国庫/県支出金	4,826	6,431				
	その他	0	1				
R 5 概算人件費	正規職員	0.56 人		1,975 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,975 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	ひとり親医療証発行数（枚）	計画値	165	－	－	－	－
		実績値	121				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	子育て支援対策	4.49	3.42
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・ひとり親家庭の自立、生活の安定の一助として121世帯へ医療証を交付し、助成を行った。
	課題	・就労面での制約が出やすいひとり親世帯にとって、医療費助成は経済的な支援として大きな安心感につながる事業であり、引き続き適切な制度運営に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

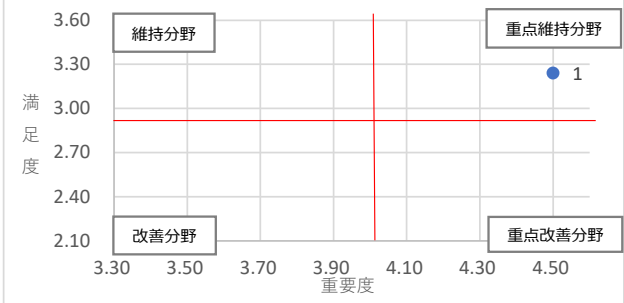
1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

予算等事業名	子ども・子育て支援給付経費				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●	●	
事業対象	民間保育所等	目的	民間保育所の運営支援のため。				
事業概要	児童福祉の向上を図るため、民間保育所の運営に係る経費を給付する						

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	05	大事業	子ども・子育て支援給付経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	581,226	569,761				
	概算人件費	2,858	2,858				
	トータルコスト	584,084	572,619	0	0	0	
	国庫/県支出金	400,697	389,873				
	その他	39,496	41,130				
R 5 概算人件費	正規職員	0.54 人		2,858 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,858 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	保育園の待機児童数（４月１日現在）【戦略】（人）	計画値	0	0	0	0	0
		実績値	0				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	保育サービスの充実	4.50	3.24
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	
	課題	
今年度	成果（実績）	・引き続き保育の需要は高く、年度当初においては待機児童なく運営はできているものの、年度途中の新規需要に対し供給が見合わず年度末時点で待機4名が発生した。
	課題	・共働き世帯の増加により保育所の需要増加と幼稚園の需要減少が続くが、少子化に伴う未就学児自体の減少状況にも注視して適切な事業運営に努め、引き続き民間保育所の入所希望者の円滑な受け入れを図る。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

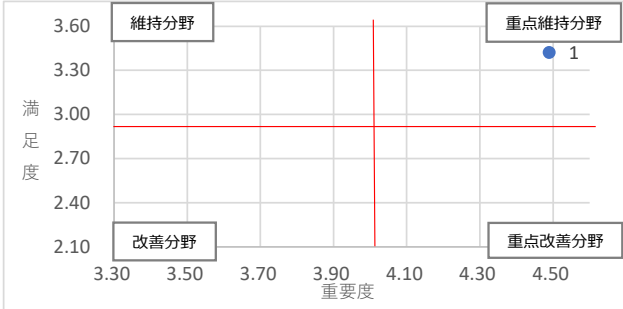
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	子育てサロン及び一時預かり運営事業				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●	●	
事業対象	町民	目的	乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供を行う。また家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児に預かる。				
事業概要	子育て支援の充実を図るため、子育てサロン及び一時預かりを社会福祉法人に委託し、運営の安定化を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	02	大事業	子育てサロン及び一時預かり運営事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込		R 7 事業費		R 8 事業費
							R 9 事業費
	直接事業費	24,460	26,940				
	概算人件費	1,152	1,152				
トータルコスト		25,612	28,092		0		0
国庫/県支出金		15,056	14,922				
その他		564	639				
R 5 概算人件費	正規職員	0.25 人		1,152 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,152 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	子育てサロン利用者数（人）	計画値	5,861	10,074	9,806	R6に設定	R6に設定
		実績値		7,499			
②	一時預かり利用者数（人）	計画値	320	353	346	R6に設定	R6に設定
		実績値		329			

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	子育て支援対策	4.49	3.42
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・孤立しがちな保育園・幼稚園入園前の乳幼児の保護者などの交流の場として、また育児等への悩みや不安を軽減するための一助として事業運営を行った。
	課題	・今後も施設や制度の周知・利用促進に努めるとともに、保育所利用者の増加に伴う未就園児の減少などを考慮し、町内２子育てサロンと３一時預かりの在り方を検討する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	要改善

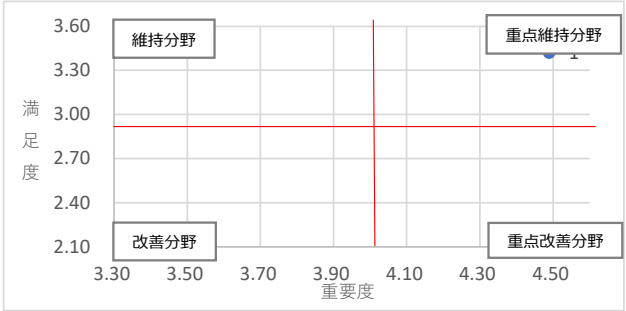
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	子育て支援対策事業				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●	●	
事業対象	町民	目的	子ども・子育て支援事業計画の進捗状況の把握などを行っていく。				
事業概要	子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援事業計画を策定する。また、子育て支援に関する事業を行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	03	02	01	大事業	子育て支援対策事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込		R 7 事業費		R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	8,591	12,492					
	概算人件費	1,049	1,049					
トータルコスト		9,640	13,541		0		0	0
国庫/県支出金		1,332	1,332					
その他		0	0					
R 5 概算人件費		正規職員	0.21 人			1,049 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			1,049 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	ファミサポまかせて会員数【戦略】 （人）	計画値	75	80	85	90	95
		実績値	89				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	子育て支援対策	4.49	3.42
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・年末にこども大綱が示され、これにより次期計画をこども計画とすることが努力義務とされたが、今年度においては、令和5年度から2か年で策定を予定していた従来の子ども・子育て支援事業計画についての策定作業を進めた。
	課題	・令和6年度予算として、従来計画策定分に加えてこども計画とするために要す経費を盛り込み、あわせて子ども・子育て会議へ諮りながら、計画策定まで適正に執行する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

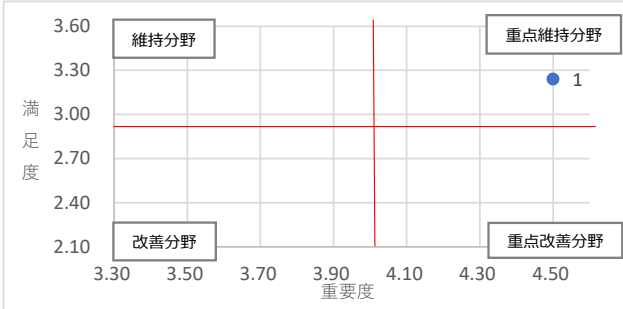
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	病後児保育事業				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町民	目的	保護者が安心して働くことができるように支援するため。				
事業概要	病気の回復期にある児童が、集団保育及び家庭での保育が困難な場合において、適切な施設で一時的に保育を実施する。						

事業予算								
会計	01	款項目	03	02	01	大事業	病後児保育事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込		R 7 事業費		R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	1,051	1,116					
	概算人件費	314	314					
トータルコスト		1,365	1,430		0		0	0
国庫/県支出金		0	0					
その他		0	0					
R 5 概算人件費		正規職員	0.06 人			314 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			314 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	病後児保育登録者数(人)	計画値	24	24	R6に設定	R6に設定	R6に設定
		実績値	29				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	保育サービスの充実	4.50	3.24
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・未就学の病後児保育登録者数が29人、年間利用件数が31件であり、病後児の保育支援に一定の効果が得られた。
	課題	・共働き世帯の増加により、病後児保育の需要は高まっており、事業の有益性は利用者から評価されているが、今後も幼稚園・保育園におけるチラシ配付や広報紙掲載等の周知に努めていく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	学童保育所維持管理経費				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町民	目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業終了後に適切な遊びや生活の場を与えて、健全育成を図る。				
事業概要	町内3か所の学童保育所の運営を社会福祉法人に委託し、また、民間学童保育所に補助を実施し、学童保育の運営について安定化を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	01	大事業	学童保育所維持管理経費
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	43,716	43,875				
	概算人件費	1,739	1,739				
	トータルコスト	45,455	45,614	0	0	0	
	国庫/県支出金	28,917	28,914				
	その他	0	0				
R 5 概算人件費	正規職員	0.42 人		1,739 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,739 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	学童保育会員数（人）	計画値	383	383	R6に設定	R6に設定	R6に設定
		実績値	321				
②	学童保育所の待機児童数（4月1日現在）【戦略】（人）	計画値	0	0	0	0	0
		実績値	0				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	保育サービスの充実	4.50	3.24
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・公設民営３学童と民設民営１学童について、委託・補助事業者とともに適切な運用を行い、321人の児童に保育を提供できた。
	課題	・共働き世帯からの需要が増加しているが、将来的に少子化に伴って減少に転じることも想定し、委託事業者・民間学童保育所と連携し適切な事業運営に努め、引き続き希望者の円滑な受け入れを図る。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

予算等事業名	商工業振興対策経費				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●	●	
事業対象	町民、事業者	目的	町内中小企業の健全な育成振興を目的とし、町商工会をはじめ、各商店の機能が十分発揮されるよう組織の育成・強化を図る。				
事業概要	町商工会と町商店連合協同組合に補助金を交付し、団体の事業の推進を支援し、各事業所の育成を振興する。						

事業予算							
会計	01	款項目	06	01	02	大事業	商工業振興対策事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算見込	R7 事業費	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	66,179	10,181				
	概算人件費	2,227	2,261				
	トータルコスト	68,406	12,442	0	0	0	
	国庫/県支出金	56,037	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R5 概算人件費	正規職員	0.52 人		2,115 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.05 人		112 千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,227 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	起業相談件数【戦略】（件）	計画値	30	30	30	30	30
		実績値	31				
②	事業継承に関する相談【戦略】（件）	計画値	0	3	3	3	3
		実績値	3				

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	商工業の振興	3.97	2.73
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・物価高騰の影響に対する補助事業（プレミアム商品券）の実施や商工会、金融機関と連携し、創業支援を行い、事業者への支援を図った。
	課題	・事業者の高齢化が進んでおり、事業継承に関する検討が必要になるが、繊細な内容のため、情報発信に留まっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

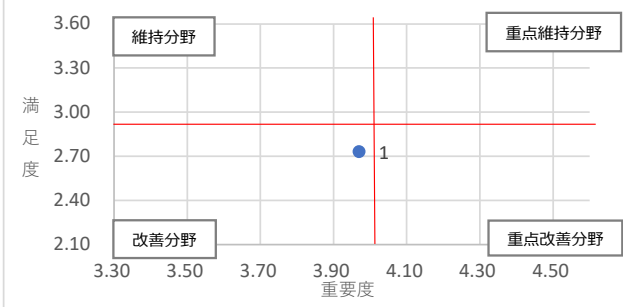
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	中小企業金融対策事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●	●	
事業対象	町民、事業者	目的	中小企業の健全な育成を図るため、指定金融機関に資金を預託し融資制度を設け、併せて資金の利用者に対し、信用保証料及び利子の補助をする。				
事業概要	事業資金の貸付制度の運用、また貸付に伴う信用保証料や利子を補助し、 町内事業者の育成を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	06	01	02	大事業	中小企業金融対策事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	23,960	23,687				
	概算人件費	1,731	1,692				
	トータルコスト	25,691	25,379	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.40 人		1,619 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.05 人		112 千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,731 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	中小企業融資件数【戦略】 (件)	計画値	12	14	16	18	20
		実績値	29				
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	商工業の振興	3.97	2.73
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・中小企業や創業者に対し、運転資金や設備資金の融資による下支えを行い、また、利子補助制度や信用保証料補助制度により、事業支援に努めた。
	課題	・現時点で大きな課題はないので、継続して事業の執行に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

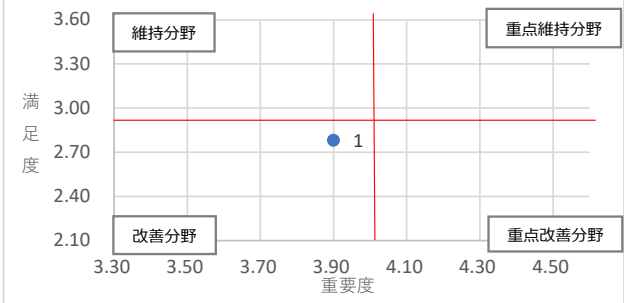
1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

予算等事業名	農業振興事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●		●	●	●	
事業対象	町民、農業者	目的	農地の担い手の育成や各種団体の育成及び協議会等への支援を推進するとともに、地元農産物の地産地消を促進し、農業の振興を図る。				
事業概要	次世代を担う農業者への支援や農林水産まつり、各種団体を通じた地元農産物の普及等を促進し、農業の振興に取り組む。						

事業予算							
会計	01	款項目	05	01	03	大事業	農業振興事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	8,099	6,539				
	概算人件費	4,180	4,180				
	トータルコスト	12,279	10,719	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	1.02 人		4,068 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.05 人		112 千円			
	その他	人		千円			
	合計			4,180 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	認定新規就農者数【戦略】 （人）	計画値	3	3	3	3	3	3
		実績値		1				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興	3.90	2.78
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」を策定し、「地域計画」を一色地区で策定した。
	課題	・全国的に農業の担い手が不足しているため、県やJAによる支援策と連携し、引き続き新規就農者の確保に努める

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

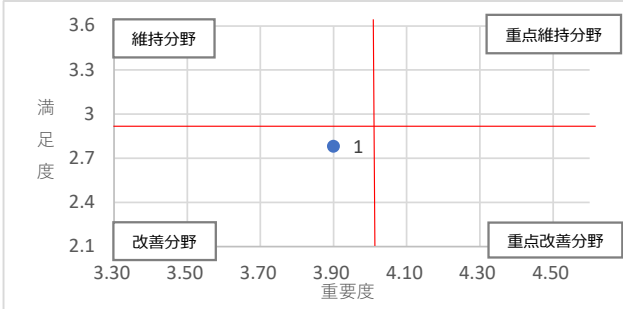
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	遊休・荒廃農地対策事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●			●	●	●	
事業対象	農業者	目的	遊休・荒廃農地を解消し、農地の保全に努める。				
事業概要	農業委員の業務として農地パトロールを実施し、遊休農地や違反転用などの実態があった場合には、所有者に指導等を行い農地の保全に努める。						

事業予算							
会計	01	款項目	05	01	01	大事業	遊休・荒廃農地対策事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費		R 8 事業費	R 9 事業費
	直接事業費	746	2,124				
	概算人件費	1,997	1,997				
トータルコスト		2,743	4,121	0		0	0
国庫/県支出金		219	544				
その他		0	0	0		0	0
R 5 概算人件費		正規職員	0.41 人		1,885 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	0.05 人		112 千円		
		その他	人		千円		
		合計				1,997 千円	

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	認定新規就農者数【戦略】（人）	計画値	3	3	3	3	3
		実績値	1				
②	遊休荒廃地の復元整備支援件数【戦略】（件）	計画値	5	5	5	5	5
		実績値	2				

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興	3.90	2.78
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・町補助金による支援により、遊休農地の一部解消及び農業経営の担い手へ農地を集約することができた。
	課題	・全国的に担い手が不足しているため、県やJAによる支援策と連携し、引き続き遊休荒廃農地の解消、新規就農者の確保に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

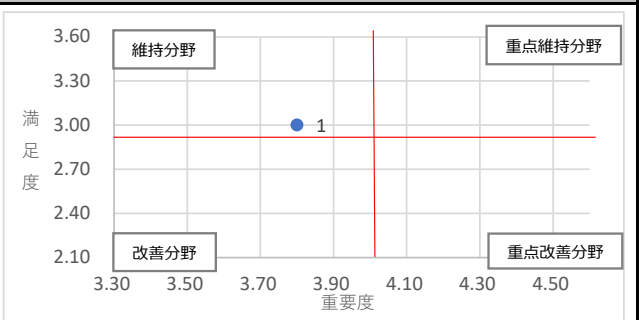
基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	特産物普及奨励事業（農業再生事業）				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●		●	●	●	
事業対象	農業者	目的	二宮町の特産品である落花生、湘南オリーブを普及奨励し、農業再生の一助とする。				
事業概要	落花生とオリーブの生産農業者に補助を実施し、生産意欲の向上を図り、町の特産品として生産量を確保する。						

事業予算							
会計	01	款項目	05	01	03	大事業	特産物普及奨励事業（農業再生事業）
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	134	385				
	概算人件費	1,463	1,463				
	トータルコスト	1,597	1,848	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.46 人		1,351 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.05 人		112 千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,463 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	町内オリーブの生産量【戦略】 (トン)	計画値	1.25	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7
		実績値		3.8				
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	特産品・地域ブランドの普及	3.80	3.00
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・農業法人による生産量が増加傾向にある。 個々の農業者には、継続的な栽培ができるように資材等の補助を実施した。
	課題	・講習会による栽培技術指導により、生産量の拡大を図り、「湘南オリーブオイル」の地域団体商標を用いてのブランドイメージの向上に努める

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和５年度 実績）

予算等事業名	有害鳥獣対策事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●		●	●	●	
事業対象	農業者	目的	農作物を野生鳥獣から守るために、自主防除及び駆除を中心とした対策を支援する。				
事業概要	農業者や猟友会と組織した有害鳥獣対策協議会に補助金を交付し、農作物の防除に対し支援を図る。また、農業者が自己防除するために防除資材の購入費用を補助する。						

事業予算							
会計	01	款項目	05	01	03	大事業	有害鳥獣対策事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算見込	R 7 事業費	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	626	2,146				
	概算人件費	1,123	1,123				
	トータルコスト	1,749	3,269	0	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 5 概算人件費	正規職員	0.25 人		1,011 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.05 人		112 千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,123 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	計画値						
	実績値						
②	計画値						
	実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興	3.90	2.78
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	－
	課題	－
今年度	成果（実績）	・町補助金による自主防除の支援を実施し、有害鳥獣対策協議会との連携より、大型有害鳥獣の捕獲や、広域柵の設置を行った。
	課題	・有効な捕獲方法の検討及び、広域防護柵の設置個所の選定に努める

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持